



し

ゆ

く

だ

い

た

し

か

め

ひ

よ

う

4月30日～5月6日

おわったらサイン		こ ん し ゅ う の し ゅ く だ い
	1	音読 P52～P57
	2	かん字がくしゅうノート P24～P30（毛・高・風・晴・多・形・長）⇒5月6日午後5時までに提出
	3	単元のふりかえり「たんぽぽのちえ(3)・(4)」「じゅんじょ(1)・(2)」
	4	ことばのきまり「口は口を口。」
	5	つづけてみよう④
	6	1年生のかん字のおさらい 「四おはなしかん字(2)」
	7	かん字テスト④のれんしゅう（らいしゅうのかん字を書くテスト④）
	8	かん字を読む④（かん字を読むテスト④）
	9	5月のうたをうたう「はるがきた」をうたう



音

読

力

ー

ド

きのうよりじょうずに読めたかな

よくできた ☺ できた☺ もうすこし ☹

読んだところ （ かんさつ名人なろう ）							
読 む め あ て	土	日	月	火	水	木	金
① しせい正しく							
② 大きなこえではっきりと							
③ てんやまるでくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようがわかる							
おうちの人サイン							
先生のしるし							

たんぽぽのちえ ③

● つぎの 文を 読んで こたえましょう。

やがて、花は すっかり
かれて、その あとに、白い
わた毛が できて きます。
この わた毛の
一つ一つは、ひろがると、
ちようど らっかさんのよう
になります。たんぽぽは、
この わた毛に ついて
いる たねを、ふわふわと
とばすのです。



(1) 花が かれた あとに、なにが
できますか。

白い

(2) わた毛の 一つ一つは、ひろがる
と どのように なりますか。

のように なる。

(3) たんぽぽは、ふわふわと なにを
とばしますか。一つに ○を つけ
ましょう。

- () かれた 花。
- () わた毛に ついて いる たね。
- () わた毛から とれた たね。

たんぽぽのちえ ④

● つぎの 文を 読んで こたえましょう。

この ころに なるど、
それまで たおれて いた
花の じくが、また おき上
がります。そうして、せのびを
するように、
ぐんぐん のびて
いきます。
なぜ、こんな
ことを するのでしょう。
それは、せいを 高く する
ほうが、わた毛に 風が
よく あたって、たねを
とおくまで とばす ことが
できるからです。



(1) たおれて いた 花の じくは、
どのように なりますか。一つに
○を つけましょう。

- () たおれた まま のびて いく。
- () また おき上がり、のびて いく。
- () おき上がって、また たおれる。

(2) 花の じくが おき上がって の
びて いくのは、なぜですか。

せいを する ほうが、

に 風が よく

あたって、 を

まで とばす

ことが できるから。

じゅんじょ ①

(1) つぎは、カレーライスの ざいりょうを かいに 行ったときの ことを
せつめいした 文しようです。正しい じゅんじょに なるように、1~4を
書きましょう。

- () それから、お肉うりばで ギョウ肉を かいました。
- (ー) おかあさんと スーパーマーケットに 行きました。
- () おわりに、レジで お金を はらって かえりました。
- () はじめに、やさいうりばで じゃがいもと 玉ねぎと
にんじんを かいました。



(2) つぎは、かいとさんが、あさ おきてから 学校に おかうまでに する
ことを せつめいした 文しようです。正しい じゅんじょに なるように、
1~4を 書きましょう。

- () ごはんの あと、はを みがいて、学校に 行く じゅんびを
します。じかんが ある ときは テレビを 見ます。
- () かいとさんは、あさ おきると、まず かおを
あらって、ふくを きがえます。
- () さいごに、わすれものがないか たしかめて、いえを 出ます。
- () つぎに、あさごはんを しっかり たべます。



じゅんじょ ②

● つぎの 文を 読んで こたえましょう。

きゅうしよくとうばんの
しごとを しましょう。

はじめに、手を よく
あらいます。

つぎに、エプロンを つけて
あたまに ぼうしを かぶり
ます。マスクも しましょう。

それから、きゅうしよく
しつに きゅうしよくを

とりに 行きます。あつい
ものや おもい ものが ある
ので、気をつけて はこびま
しょう。

さいごに、クラスの
みんなに きゅうしよ
くを くばります。



(1) なんの しごとに ついて せつめい
している 文しようですか。

(2) つぎの じゅんじょが 分かる
ことばの うち、じゅんじょの 一つ目を
あらわす ことばを えらんで ○を
つけましょう。

- () はじめに () さいごに
- () それから () つぎに
- (3) 上の 文しようの じゅんじょどおり
なるように 1~4を 書きましょう。
- () エプロン・ぼうし・マスクを
つける。
- () きゅうしよくを みんなに
くばる。
- () きゅうしよくを とりに 行って
はこぶ。
- () 手を あらう。

ことばと文のれんしゅう □は□を□。

は を

1 おぼえましょう

だれ(なに)は どうする

ぼくは あらいます。

この 文では、
なにを あらうのかが
分かりません。



だれ(なに)は なにを

ぼくは 手を

これで、なにを
あらうのかが
はっきりしました。



◇ 「だれ(なに)は なにを どう する。」
の かたちの 文を しつかりと
おぼえましょう。

2 れんしゅうしましょう

◇ 正しい 文に なるように、あう ほうの
ことばを □で かこみましょう。

① ぼくは

月を
水を

のみます。

② ねこは

さかなを
川を

たべました。

③ わたしは

雨を
本を

かいました。

④ おとうとは

貝を
森を

ひろいます。

2 れんしゅうしましょう

◇ □の中の ことばを ならべかえて、上と
おなじ かたちの 文を () に 書きましょう。

① とりは ・ うみます ・ すに ・ たまごを

とりは

② ぼくは ・ 花に ・ やります ・ 水を

ぼくは

③ ノートに ・ わたしは
はります ・ シールを

1 おぼえましょう

だれ(なに)は

は

なに

を

どうする

。

※ □には、「だれ」「なに」「どこ」などに
あたる ことばが 入ります。



・ わたしは いもうとに
えんぴつを あげます。

※ 「いもうと」は、「だれ」に あたる
ことばです。

◇ 「だれ(なに)は □に なにを
どう する。」の かたちの 文を
しつかりと おぼえましょう。

つづけてみよう④（四月三十日～五月六日）

きょうはどんなことがありましたか。こころにのこったことを、
ひとことで かいてみましょう。（できごと・見つけたものなど）



6日 (金)	5日 (木)	4日 (水)	3日 (火)	2日 (月)	5月1日 (日)	30日 (土)	日
							こころに のこった できごと

四

「おはなし かん字(2)」

赤ずきんちゃん

とってもかわいい

^{①おんな}
の ^{②こ}
。

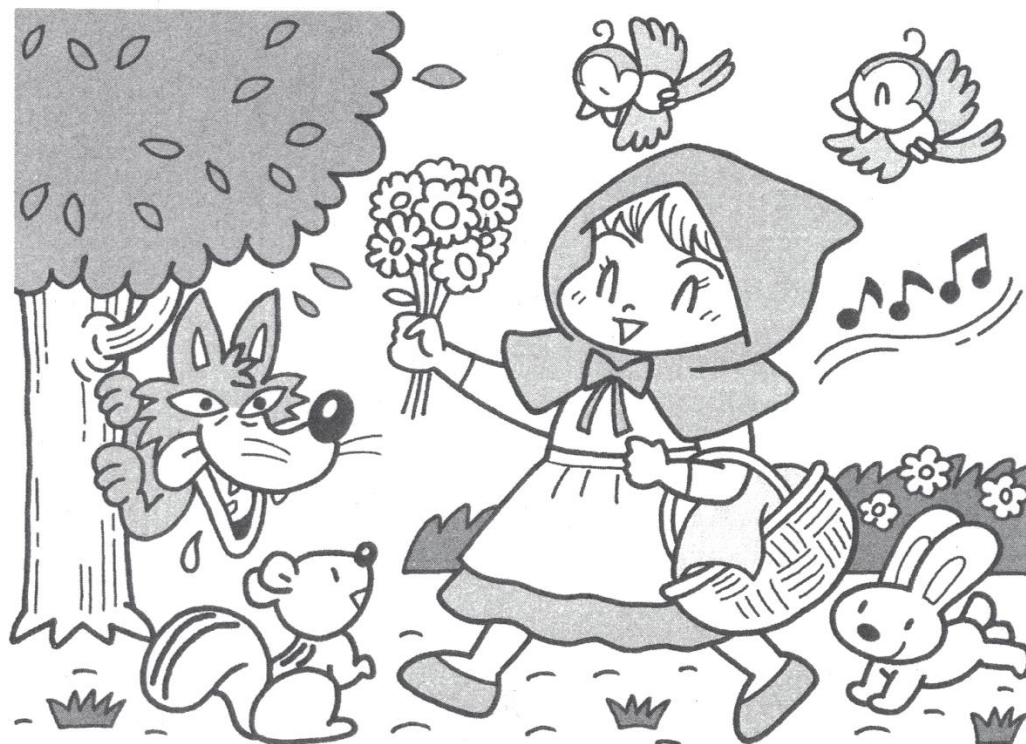
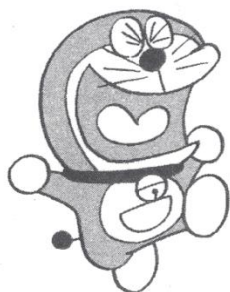
おばあちゃんのおみまいに

^{③はな}
をつんでいきましよう。

おおかみ ^{④おお}
きな ^{⑤くち}
あけて

「しめしめ、いただき…」

たいへんだあゝ
赤ずきんちゃんきをつけてー



かん字テスト④れんしゅう

★らいしゅうのかん字テストのもんだいです。() にかん字の読みかたを書き、二ばん目のかん字をていねいになぞってから、二かいれんしゅうしましょう。

なぞろう

① わた毛

わた毛

② 高い

高い

③ 風

風

④ 晴れる

晴れる

⑤ 多い

多い

⑥ 形

形

⑦ 長い

長い

かん字を読む④

①から⑩まで声に出して読みましょう。

土	日	月	火	水	木	金
---	---	---	---	---	---	---

↑読んだら○をつけましょう。

① 春の草花。

① はるのくさばな。

② 黄色いたんぽぽ。

② きいろいたんぽぽ。

③ 黒っぽい色のふく。

③ くろっぽいいろのふく。

④ 話をよく聞く。

④ はなしをよくきく。

⑤ 日曜日は休み。

⑤ にちようびはやすみ。

⑥ 風がわた毛をとばす。

⑥ かぜがわたげをとばす。

⑦ しめり気が多い。

⑦ しめりけがおおい。

⑧ 書いてあることが分かる。

⑧ 書いてあることがわかる。

⑨ きのうのことを思い出す。

⑨ きのうのことをおもいだす。

⑩ 気をつけて話す。

⑩ きをつけてはなす。

☆らしいしゅうの読むテストのめんだいです。ぜんぶ読めるようにしましょう。
一日一かい、こえに出して読みましょう。

